

第38回公共事業評価委員会 議事要旨

- **開催日時** 平成30年2月14日（水） 10時00分～10時45分
- **場 所** 福島市役所 4階 庁議室兼防災対策室
- **出席委員** 7人
川崎 興太（福島大学共生システム理工学類 准教授）
渋谷 順子（福島商工会議所 議員）
菅野 稔子（福島県建築士会福島支部 常任理事）
守谷 顯一（福島市農業委員会 前会長）
鈴木 芳喜（弁護士）
渡辺 明美（ウィメンズ イノベーションカレッジ イン ふくしま 修了生）
佐々木 崇（ファイナンシャルプランナー（福島信用金庫））
- **傍 聴** 福島民友新聞社 編集局 記者 1名
福島民報社 編集局 記者 1名
- **事務局** 総務部次長兼企画推進調整室長兼中核市移行推進室長、
行政経営課長、同課総合計画係長、同係員
- **担当課** 教育部長、教育部次長、生涯学習課長、同課課長補佐兼庶務係長、
同係員

- **会議次第**
 - 1 開 会
 - 2 あいさつ
 - 3 議 題
 - （1）評価対象事業の審議について
 - （2）その他
 - 4 閉 会

議事要旨

(1) 評価対象事業の審議について

① 渡利学習センター整備事業

担当課より資料に基づき説明、以下は質疑の内容。

【質 疑】

Q 1. 今までの年間維持管理費はどのくらいか。

A 1. 現在の学習センターの維持管理費は概ね 300 万円程度。

Q 2. 維持管理費の負担が増えるということか。

A 2. 多目的ホールの設置により個人開放を行うため常駐管理人の配置経費や建物が大きくなることによる光熱水費の増額により 200 万円ほど維持管理費が増えると見込んでいる。

Q 3. 渡利学習センターは無料で利用できるのか。

A 3. 社会教育関係団体は学習センターの使用団体として申請し認定されることで使用料が減免される。

Q 4. 渡利学習センターの稼働状況は他の学習センターと比べてどうか。

A 4. どの学習センターもほぼ同じくらいの稼働率となっている。

Q 5. 学習センターの改築は今後もあるのか。

A 5. 市内には学習センターが本館 16 館と分館 3 館の計 19 館ある。昭和 56 年以前の旧耐震基準で建築された三河台学習センター、渡利学習センター、杉妻学習センターは改築の計画がある。中央学習センターは周辺の公共施設も含めて施設の総合的なあり方を検討している。他の学習センターについては、(公共施設等の老朽化に対する基本的な考え方を示し、今後の計画的な取り組みにつなげることを目的とした)公共施設等総合管理計画の個別計画をこれから策定していく中で長寿命化のための修繕時期や内容について検討する予定。

意見. 学習センターは中学生をはじめ子どもが集まるにはいい場所であり、適切な予算を使って新しくしてもらうことには賛成。また、使用団体として登録されれば施設が無料で利用できるため予算がない団体にとってはとても便利な施設である。一方、施設予約が使用日の前月 10 日からでなければできないため団体活動の予定が立てづらい。施設を新しくするだけではなく、このルールを変更し使い勝手を良くしてもらいたい。

回答. 毎月 10 日以降に翌月の使用申請を受け付けるというやり方は、学習センター運営要綱に基づいて行っている。ご指摘の件は今後の課題としたい。

Q 6. 学習センターを利用した市としてのソフト面での活動や企画広報に係る経費も維持管理費に含まれているのか。また、渡利学習センターだけでなく市全体として企画広報に取り組んでいるのか。

A 6. 学習センターを利用したソフト事業に関わる費用は維持管理費には含まれていない。ソフト事業については別予算があり、各学習センターで地域の方々や(学習センターにおける各種の事業の企画実施につき調査審議をする)学習センター運営審議会から意見をいただきながらさまざまな事業を企画している。SNS 等も積極的に活用しながら広報を行っていきたい。

Q 7. 渡利学習センターあり方懇談会からの提案内容のうち「花見山の通年観光の拠点となるような施設整備」について、具体的にはどのような意見があったのか。

A 7. 花見山の観光シーズンである春以外にも人を呼び込むための仕掛けづくりが地元の強い要望である。そこで観光担当部署と協議をし、エントランスホールを広くとり、そこに写真を展示するなどの工夫を地元の皆さんに考えてもらいながら渡利らしい施設にすることについて施設整備計画で検討している。

Q 8. そのような懇談会からの意見が「3費用対効果」の「(3) その他特記すべき事項」に含まれているということか。

A 8. そのように話し合いを行ってきた。

Q 9. 渡利学習センターから花見山までの距離はどのくらいあるのか。

A 9. (敷地の南側を流れる)くるみ川沿いの遊歩道を歩くようになるが1kmはないと思う。ゆっくり歩いて15分程度。

Q10. 学習センターに写真を展示して、看板などを設置すれば花見山を訪れた観光客が学習センターまで足を延ばすことが可能な範囲ということか。

A10. 花見山観光シーズンには、渡利学習センターは体が不自由な方の駐車場となっており、そこから花見山までのシャトルバスが発着している。新施設を整備後も同様に利用可能な施設としたいと考えている。

意見. 花見山のまわりは花卉農家が多い。花見山と学習センターを観光のポイントとしてつなげることで広く周りの景色も見てもらえる散歩コースにできるとよい。車が止められれば市民も行くのではないか。

意見. (学習センターのソフト事業として)吉井田学習センターで小学生を対象に、災害時のリーダーを育成するために災害時を想定した体験をする防災合宿を実施した。災害時は地域とのつながりが大切になると思う。地域の人が実際の生活でつながりあえるような体験型の活動をたくさんやってもらいたい。

回答. 今年度は吉井田学習センターだけでなく、飯坂学習センターでも同様の事業を行い、少年会や消防団、町内会など地元の方も参加した。このような事業を今後も広めていきたい。

(まとめ) 新規着手について認めるということでまとめたいと考えるがいかがか。
(「異議なし」の声)

(審議のまとめ)

【川崎委員】

市に対する意見具申については一任の下で進めさせていただいてよろしいか。
(「異議なし」の声)

(2) その他

事務局より以下の説明

・本日の審議結果を受け、福島市公共事業評価実施要綱に基づいて市の対応方針を速やかに決定する。

・本委員会の評価結果と対応方針、議事要旨については、市のホームページにより公表

する。

閉 会 10:45